

大磯

議会だより

第142号

2007年（平成19年）10月26日発行

9月定例会

- 決まったこと
 - 町道認定 2
 - 補正予算 3
 - 決算認定 4・5
- あなたの要望はこうになりました 8



ここは何処？
(答えは裏表紙に)

標高219mの山頂に社殿は建っている。
巨大な古木のタブノキに守られ、風雪に耐えるためか、石造りの社殿は地域で大切にされているのを物語っている

平成19年大磯町議会9月定例会を会期26日間と決め、9月3日より行った。
住民からの要望は陳情7件、6年ぶりに請願が1件提出された。
町からの議案は決算の認定、人事案件2件を含め18件を審議し、可決した。
また、陳情による意見書3案も可決した。

15路線 町道認定される

議会への町道認定提案 5年間なし

開発行為などにより設置・移管された町管理道路15路線の町道認定の議案が提出された。

付託された総務建設常任委員会では、現地視察及び調査後、質疑を行い、賛成多数で可決した。本会議でも採決の結果、賛成多数で可決した。

本会議・委員会の主な質疑

問 議案には道路の起点・終点・延長があるが、面積がないのはなぜか。
答 認定された後、道路台帳を作成し、面積を出す。

問 完成検査をしたのか。
答 平成4～19年度に寄付されたものは検査した。

問 5年も認定せず、町民への支障はなかったのか。
答 特にない。

問 道路は、ユニバーサルデザインになっているか。
答 なっていない。

問 路線15件を一括で提案しているが、一件、一件提案されるべきでは。
答 今後は時期を見てやっていく。

問 議案に提出日だけで、施行日がない。認定はいつか。
答 議会で認定された後、住民に公告し、初めて施行。

問 提案15路線は、全て町道認定要領に合っているか。
答 認定基準、認定条件、起点、終点が既存の公道に接続している。一端が公道に接続しており、道路幅員4m以上舗装され、排水設備が整備されているので、合っている。

問 平成4年に作られた道路もある。なぜ今の時期か。
答 西小磯79号線の二部、80号線、82号線が平成4年に寄付されたが、公道と公道に接続していなかった。今後79号線が公道と公道で結ばれ、79号線を終点とする道路となる。

問 大磯108号線、位置指定道路は、県の許可条件がクリアーされているか。
答 位置指定道路とは、道路のない土地に建物を建てる時は、新たに道路を作らなければならない。4m以上の私道を作る条件があり、道路として認定されなければ建物は建てられない。建築基準法に基づいて道路位置指定される。108号線は開発でなく、道路の半分は一般寄付である。

問 高麗は大変遠回り、国府新宿は農道に接続し、道幅が細く抜ける道がないか。
答 今回の認定場所は、開発に伴う寄付により認定基準となり、元からある道路、計画している道路とのつながりは、今後、地権者にご理解を得ながら道路拡幅を進めたい。

問 昭和59年策定町道路線認定の基準要領の見直しは。
答 近隣市町村の状況を踏まえ、見直しをしたい。



小磯幼稚園そばの西小磯79号線

優先順位に問題があった？ 磯中体育館の耐震改修

問 大磯中学校体育館の耐震改修工事に屋根の防水塗装費157万5千円を追加し、総額7千707万円とする議案が提出された。

答 当初計画は平成18年から検討委員会で改修内容を精査し決定したが、屋根の防水塗装は含まれていなかった。

問 しかし、いずれ必要になることから外部足場や防護シートを設置しているうちに行ったほうが経費の節約になるという理由である。採決の結果、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 必要なかったものが急に出てきた理由は何か。

答 屋根は平成4年以前の屋根に鉄板をかぶせたものの。今雨漏りはなく、それほど傷んではいないが、塗装は10年と言われているので追加した。

問 15年も経っているなら、当初から最優先課題にすべきではないか。

答 積算の中で優先順位のつけ方に間違えがあった。

問 別発注した場合に比べ、節減はいかほどか。

答 別発注は300万円程度。足場の分が安くなる。

問 予算が余りそうなので追加したら、当初予算や入札制度の意味がないと思わないか。他の業者で見積もりし、再度提案すべきではないか。

答 当初8千500万円で積算し、ぎりぎりだったので防水塗装は入らなかった。今後このようなことが起こらないよう気をつける。

反対討論

予算が余りそうになったから、追加するような事を認めたら、今後職員と業者の癒着につながる恐れがある。

賛成討論

当初見積もりは甘かったが、いずれ必要な工事なら行つたほうが良い。二度と起してはいけない事だ。

補正予算

一般会計と4特別会計の補正予算が提出された。

一般会計は、総額2億8千614万円。18年度の繰越金と地方交付税の増が主なものである。

採決の結果、5議案とも可決した。

主な質疑

生沢月京1号線

問 生沢月京1号線(不動川添い)整備事業費の内容は、

答 一部地権者との用地交渉が土地の交換で行うことになったので、交換用地を取得している大磯町土地開発公社から土地を購入する。土地開発公社は町事業の先行取得をする機関なので、町の土地にしてから交換することになる。取得する用地の不動産鑑定を行って交換したい。

地方交付税

問 地方交付税が交付になった理由は、

答 大磯町の基準財政の収入額が44億7千800万円・

基準財政需要額が45億4千900万円となっていて、収入が7千100万円ほど不足している。それを国で

調定した結果、6千350万円の普通交付税がくることになった。

公共下水道

問 公共下水道整備事業の再評価業務委託とは何か。

答 国の補助金を使っているこの事業は、10年毎に評価することになっている。事業費の推移・施設の供用状況・費用対効果等の分析を行い、その結果を県が代行して再評価監視委員会に提出し、そこで出た結果を国へ提出する。その効果がどうかという事で、翌年度の国庫補助金のなかで評価の結果の影響が出てくる。

問 初めからわかっているなら、なぜ、当初予算で計上しなかったのか。

答 専門的な職員がいないので、調査は業者に委託したい。当初予算に載せるのに間に合わなかった

ので、ここでお願ひしたい。

教育振興費

問 教育振興推進事業で、部活動補助金60万円弱の内容は。

答 関東大会や全国大会等に出場する際の児童・生徒の派遣を補助する。交通費、宿泊費、大会参加費、資料代など。

問 既に大会は終了している。だれかが出しているのか。なぜ、予備費等の対応をしないのか。

答 保護者の方が立て替えている。補助金なので、額が確定した段階で申請をしてもらっている。概算払いで出しても、今度は精算事務が伴って二重手間になってしまう。

問 これが町長の考える「教育優先の町」か。

答 部活動の結果次第で、当初から見込めない、その辺りを少しご理解いただきたい。

使った

決算審議は例年どおり特別委員会に付託して行われた。

特別委員会の5日間の審議では「毎年同じ質問と同じ答弁では何の進歩もしてないではないか」等の厳しいやりとりがあった。

採決の結果、特別委員会最終日の20日、平成18年度一般会計決算は4対3で、また、本会議最終日の28日、同じく9対4で可決した。

町有地売却収入

問 町有地売却収入の4件の場所。

答 ①マツダアンフィニ湖南敷地内、②旧NCR入り口部分、③日本端子内の水路、④マクドナルドからJRへ入るところ。

予備費

問 予備費の使われ方は。

答 図書館駐車場の整備、東海大学病院への町有地払下げの鑑定料、また、修繕など事前に対応できないものに予備費を充当した。

電動生ごみ処理機

問 電動生ごみ処理機補助金の内容は。

答 18年度は36台。14年8月から制度化され、199台の補助をした。

国民健康保険

問 国保会計の歳入増の理由は。

答 証明の発行数は、また、徴収実態と資格退職者医療の加入増が歳入増になった。徴収は嘱託員2名、職員7名、課合同の滞納整理8班で行っている。資格証明の発行はない。

平成18年度決算歳出額

総額 167億2,031万円

●一般会計	78億9,081万円
●特別会計	
国民健康保険事業	32億6,927万円
老人保健	27億5,910万円
介護保険事業	17億9,470万円
下水道事業	10億 643万円

※1万円未満は四捨五入

町税徴収延滞金

問 町税徴収延滞金の件数と徴収の努力は。

答 件数は552件。徴収は県OB2名、町職員は2名8組で訪問した。

幹線28号線整備

問 幹線28号線整備は、どこをどうしたのか。

答 虫窪から二宮境へ行くところの片側舗装と東海大学大磯病院入り口の角の補償をした。

ドクターヘリ

問 神奈川県ドクターヘリ負担金とドクターヘリ運営費負担金の違いは。

答 県負担金は35市町村と山梨県南部12市町村の負担金。運営費負担金は使った分の負担金で18年度は11件出動した。



東海大学大磯病院入口の幹線28号線

反対討論

◆不納欠損に対しての町の対応、生沢プール、生きがい事業団の対応策など問題がある。職員の配置をしっかりやっていない。迅速且つ柔軟な対応を要望する。

◆収入が増えないのに増税となり、安心して暮らせるためのセーフティーネットが町独自で全く拡充されなかった。障害者自立支援、介護保険、国保会計も同様である。

賛成討論

◆一般会計から下水道会計まで不納欠損があるのは由々しき問題だ。昨年より多くの不納欠損が出ているのは町民にとって良くない。ごみ処理費の使い方の対応に不備がある。

◆町税徴収率や滞納繰越し徴収に努力の跡が見えた。多くの事業が予算額より決算額を抑えた努力があった。依存財源の構成率が減り、自主財源の構成率が上がったことも評価する。議決に沿って町民のためにおおむ

決算認定

18年度

こう



生沢プール

照ヶ崎プール

問 照ヶ崎プールは、3千万円を越す支出で、歳入は116万円である。大人・子どもの入場料と改修については。

答 生沢プールと同じ大人200円、子ども無料である。プールサイドの床面の改修工事を行ったが、子どもプールや大規模改修は実施できなかった。

生沢プール

問 生沢プールの線下補償について「高圧線」の下にあるという危険の認識が足りないのではないのか。根本的に考え直すべきではないか。

答 危険については議員からも指摘を受けている。中止すべきとの声もあった。

生きがい事業団

問 生きがい事業団補助金の根拠は。

また、売り上げと今後の在り方は。

答 中高校のための就業開拓費、人件費、運営費として支出した。

総売り上げは約4千100万円、そのうち595件の民間受注があった。今後は定期的にシステムづくりをし、団塊世代の活用を図る。

子育て支援センター

問 子育て支援センターの利用者は。

答 利用者は3千592名と増えている。相談事業と広場で集う情報提供を行っている。来所の相談件数は延619件、そのほか電話相談もある。

不登校

問 不登校の現状は。

答 不登校は、小学生8名、中学生25名。不登校の原因は複雑であり、減らすために日々努力している。

小学校費の消耗品

問 小学校費の教育振興推進事業消耗品費の内容は。

答 小学校の音楽用CD、試験用紙、原稿用紙、パイオリンの弦、学級費として児童が使用する紙代一人当たり50円×人数分で90万円を補助している。

小学校の部活動

問 小学校の部活動の補助は。

答 大磯小学校の吹奏楽と国府小学校の金管クラブに補助をした。

図書館

問 図書館の臨時雇い13名における司書資格は。

また、ボランティアとの関係は。

答 5名が司書資格を持っている。

ボランティアはおはなしボランティアが48名、映画会などのボランティアが18名おり、臨時雇いが行うカウンター業務などは個人情報を扱うのでボランティアにはできない。

ね予算執行された。

◆経常収支比率も人件費の削減により88.7%と前年度と比較して63ポイント下がったが、事業の改革がさらに必要だ。法人税増の努力を要望する。生沢プールの方向性、世代交流センターの方針、生活交通確保を期待する。

◆予備費は、議会に説明責任を果たすこと。不納欠損もあるが国保・税務の滞納整理、昼夜の徴収を今後も引き続きお願いする。決算説明書が年々わかりやすくなったことを評価する。

決算特別委員会

委員長 浅輪いつ子
副委員長 竹内恵美子
委員 高橋 英俊
坂田よう子
奥津 勝子
柴崎 茂
鈴木 京子
土橋 秀雄

町政のここが聞きたい

一般質問

今回から一般質問は試みとして、全ての通告質問項目を載せることにしました。

従来どおりの要約文は、本庁舎・支所のロビーに用意してあります。ホームページでもご覧いただけます。

竹内 恵美子 議員

- 1 大磯町の学校教育について
- 2 大磯町の防災対策について

奥津 勝子 議員

- 1 子育て支援策の推進を問う
- 2 生活交通対策について

清水 弘子 議員

- 1 町長の政治姿勢を問う
- 2 部長の廃止と機構改革進捗は
- 3 ごみ減量化、資源化、安全化は進んでいるか
- 4 景観条例の制定への取り組みは
- 5 鴨立庵西側の葬儀場への対応は

三澤 龍夫 議員

- 1 町長は現在の大磯町の状況をどのように捉えているのか
- 2 これからの大磯のまちづくりについて

山田 喜一 議員

- 1 町の緊急課題への対処について
- 2 まちづくりの骨格である道路計画について
- 3 財政状況に踏まえた、行政改革と増収対策について

山口 陽一 議員

- 1 大磯町の機構改革について問う
- 2 安心・安全なまちづくりは順調に進んでいるか
- 3 「町長と語る集い」で要望されたことについて問う

土橋 秀雄 議員

- 1 大磯町公園行政は、町民の納得が得られているか

坂田 よう子 議員

- 1 邸園文化圏再生構想に対する大磯町のあり方について
- 2 大磯港活性化整備計画の実現性を問う
- 3 子どもを巡る政策を大切にするまちづくりにについて
- 4 地域主権実現のための基本方針について

鈴木 京子 議員

- 1 後期高齢者医療制度について
- 2 住民税について
- 3 小児医療費助成について
- 4 大磯保育園民営化について
- 5 ごみ処理広域化について
- 6 まちづくりについて

浅輪 いつ子 議員

- 1 大磯保育園民営化への対策について
- 2 町民の不信を招いた町の対応について
- 3 平塚・大磯ブロックごみ処理広域化実施計画骨子案の問題点について

柴崎 茂 議員

- 1 町土地利用計画は適切か
- 2 教育委員会人事は適切か
- 3 行政を継続させる基準は何か

賛否結果

議案番号	議員名（議席順）		渡辺 順子	山口 陽一	三澤 龍夫	高橋 英俊	坂田 よう子	竹内 恵美子	奥津 勝子	浅輪 いつ子	清水 弘子	柴崎 茂	山田 喜一	鈴木 京子	土橋 秀雄	結 果
	議 案															
42	大磯町情報公開条例の一部を改正する条例 (郵政民営化法等の施行に伴う条例の整備)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	政治倫理の確立のための大磯町長の資産等の公開に関する条例 の一部を改正する条例 (郵政民営化法等の施行に伴う条例の整備)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	大磯町土地開発公社定款の変更について (郵政民営化法等の施行に伴う条例の整備)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	大磯町町税条例の一部を改正する条例 (信託法の施行に伴う条例の整備)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
46	工事請負変更契約の締結について		●	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	可決
47	町道の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
48	平成 19 年 度	一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
49		国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50		老人保健特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51		介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52		下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
53	平成 18 年 度	一般会計歳入歳出決算の認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	可決
54		国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	可決
55		老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	可決
56		介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	可決
57		下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	可決
58	固定資産評価審査委員会委員の選任について 鈴木慎一郎氏		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
59	教育委員会委員の任命について 澤 愛子氏		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
意見書 第2号	豊かな教育を実現するため、平成20年度の教育予算増額を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
意見書 第3号	平成20年度の義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
意見書 第4号	個に応じた教育を実現するための学級規模の縮小・弾力化、30人以下学級実現を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
請願 第1号	精神障害者福祉施策に関する請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

○は賛成 ●は反対

あなたの要望はこうになりました

採択となった請願

◆精神障害者福祉施策に関する請願

紹介議員は渡辺順子議員、請願者は板谷茂穂氏（湘南社会復帰協会代表世話人）。内容は、身体障害者と知的障害者だけが対象となっている障害者医療費助成の対象に精神障害者保健福祉手帳1級及び2級保持者も含めるようお願いしたいというもの。

主な意見は次のとおり。
・障害者自立支援法、並びに町障害者福祉計画に則し、公平性を保った施策を望む。
・医療的観点、福祉的観点ではじまった経緯から格差を生じてはならない。
・税金を使った助成制度であり、対象者の所得を見極めていくべきである。
・財政負担を伴うことであり、福祉施策全体の見直しを併せて行なう必要がある。

全員賛成

採択となった陳情

◆豊かな教育を実現するため、平成20年度教育予算増額を求める陳情

◆平成20年度の義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情

◆個に応じた教育を実現するための学級規模の縮小・弾力化、30人以下学級実現を求める陳情

この陳情3件の陳情者は、岩田裕之氏（中地区教職員組合執行委員長）。内容は、次の事項について意見書を国へ提出するというもの。

①豊かでゆとりある教育、安心して学べる学校を保障するため教育予算の増額。
②義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に復元。
③教育環境・教育条件整備として、学級編制及び教職員定数の標準の改善。

採決の結果、意見書が3件提出された。

趣旨採択となった陳情

◆陳情書 有料老人ホーム開発に反対する件

陳情者は、今井菊治氏（国府新宿）。

内容は次の3点。

①有料老人ホーム開発に関わる認定外町道について、業者より（上空占用）という概念が持ち出されたが、「同意書」の取り交わしをしないよう町に働きかけること。
②認定外町道を町道として道路側溝等も整備されるよう町に働きかけること。
③幼稚園児が安心して通園できるように、横の木架道橋の泥水対策が実行され、排水インフラが整備されるよう町に働きかけること。

町長から
①利害関係者、近隣住民の理解が無ければこの事業を進める計画はない。意見を尊重し進めたい。
②・③町の案件事項である道路拡幅は、地域のご協力を頂ければ進めたい。と答弁があった。

意見として、陳情者の考えを十分に理解し、関心を持って見守り続けたいとあった。

◆国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択を求める陳情書

陳情者は、内藤正剛氏（神奈川私学助成をすすめる会代表）。

内容は、私学助成制度の充実等を求める決議と意見書を国と県に提出するというもの。

不採択となった陳情

◆大磯町の私学助成制度拡充を求める陳情書

陳情者は、内藤正剛氏（神奈川私学助成をすすめる会代表）。

内容は、私立幼稚園就園奨励費補助金の拡充と私立学校生徒への就学補助制度の新設、また、奨学金制度の充実を図るというもの。

継続審査となった陳情

◆定例議会における一般質問と町答弁についての陳情

机上配布となった陳情

◆住民の健康を守る保健制度の拡充を求めることに関する陳情

関係省庁に提出された意見書

- 豊かな教育を実現するため、平成20年度教育予算増額を求める意見書
- 平成20年度の義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書
- 個に応じた教育を実現するための学級規模の縮小・弾力化、30人以下学級実現を求める意見書

編集後記

今回からページ数を大幅に減らしました。誰にでも気軽に読んでもらえる議会だよりにする試みです。

ページ削減で無くなった一般質問は、要約を本庁舎と支所の1階ロビーに持ち帰られるように用意してあります。

さて、表紙写真は今回から町内の神社を特集します。地域以外の方にはなじみの薄いのが実態のようです。ぜひ、この機会に町内散策をされてはいかがですか。

これから2年間、読みやすく審議内容がよくわかる編集を心がけてゆきます。皆様からのご意見、ご要望をお待ちしております。

表紙の答 鷹取神社（生沢）

議会だより編集委員

委員長	柴崎 茂
副委員長	浅輪 いづ子
委員	高橋 英俊
	竹内 恵美子
	清水 弘子
	土橋 秀雄
	百瀬 恵美子
議長	渡辺 順子